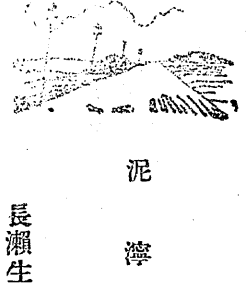


刊夕 日九廿月二

常 新 日 報

定価 一冊全銀二角五分
 廣告刊五號十二字銀一行全五銀
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常新日報社 東京 丸の内
 電話 六三〇〇
 印刷所 常新日報社 東京 丸の内



泥 濘

長瀬生

(四)
 お前は私の此の頃のことを知つてゐるだらう。いつもいらして、笑顔一つしない私を今日も私は子供を叱つた。
 私はお前の驚きも、不思議も皆知つてゐる、私は單なる銀行の七十圓の月給取の集金掛なのだ。私は何も一生こんな生活に終らせたくはなかつた。現在もそうしたくはない併し現実といふものは我々には冷たいものだ、お前はよく私を信頼して呉れた私はお前に信頼さればされる程苦しい私は私の不甲斐なさを恐れたくなるのだ。恐らくお前は私のこんな心の中を知らないであらう私の無口はお前の愛を私に感じてゐるのかしらと思はせるに充分な程だ。
 私は私にしか悪人なのだ。
 私がこんな事——段々判るだらう——を考へ出したのは健一が入院したりして金が要る様になつて

からだ。それ迄は少くとも一杯私は單調な閉ぢ込められた様な務をやつて来たのだ。私は自轉車で毎日、家々を廻つて歩く、私の古ぼけた鞆には毎日何千圓かの現金と何萬圓かの小切手が集められる。私は併しその私に少しの魅力も誘惑も感じなかつた。仕事の時にはそれは單なる紙片であり命屬であつたのだ。しかし恐ろしいものだ。私の事務的な心はあの月からぐらつて来た。紙幣は紙幣として映り出したのだ。私は拂ひのけようとした私は努力した。いら

幣を略取すべきかといふ計畫が私の心に囁きかける。遂には私は全然仕事がいやになつた。しかしやらなければならぬ。私のこの時の苦しみは大抵の想像では及びもつかないものだと思ふ。私の紙幣を見る眼は血走つた。數へる手はふるへた。何時か、金を受け取るその家の人に顔が眞蒼だと云つて注意された事があつた。私はこの心に巢喰つた悪魔を滅ぼす事は弱く出来さうもなかつた。
 お手玉
 落合みどり
 縫ひ終へて ひかしうたひしうたうたひ お手玉とりぬ 夜更けの一人
 廿年わすれし手玉 子等のため しみる縫ひぬ 嬉しかりけり
 三人の吾子に 十づゝ縫ひ終へし 色うつくしき お手玉なりけり
 安らげき 子等のねいきに心たり 更くるを知らで お手玉ぬひぬ

度有難が存じます
レストラント 平 齋 詔
 電話 624

謹啓 母トキ儀永々病氣中ノ處藥石無効本日午前八時三分長逝仕候間此段御通知申上候 敬具
 追而葬送儀ハ途中葬列ヲ廢シ來ル三月二日午後一時ヨリ三時マデ平町明賢寺ニ於テ告別式相嘗可申候
 昭和十一年二月二十九日
 男 萩原 申八
 親族總代 鈴木 和一郎
 中 山 毅 雄
 中 村 孝
 小 田 吉次
 友人總代

難 波 院
 内科一般
 醫學博士 難波 睦
 看護婦募集
 平町大町新川端
 電話 五〇〇二

魚清のサービス
 たらちりなべ 三十五錢
 ちりなべ 三十五錢
 あなごなべ 三十五錢
 よせなべ 三十五錢
 かきなべ 三十五錢
 ねぎまなべ 三十五錢
 煮込なべ 三十五錢
 鳥なべ 三十五錢
 牛なべ 三十五錢
 豚なべ 三十五錢
 かつフライ 三十五錢
 かつ酢の物 三十五錢
 あんこも酢 三十五錢

定食
 四品 五十錢
 三品 五十錢
 五品 八十錢

●出前持大至急入用
平二番客路通り 魚清食堂
 電話 六三三三

吉田眼科醫院
 平紺屋町 電話 六八番
 醫學士 吉田久雄

平屋洋品店
 平町田町通電話 六五六番

聖慮を拜察して

自重を失ふな

東京事件に關し

平署宛に知事の告諭

ん事を望む

四倉漁組

油タンク新造

縣へ廿八日申請

去る廿六日朝東京市に勃發せる事件に關し本廿九日伊藤本縣知事より平署宛一般に通達するやう左の如き告諭があつた

四倉漁業組合では四倉港實現に依り漁船の魚油タンク二基を設置することになり廿八日縣に土地專用の認可を申請した

強調週間に

鳴物入りの宣傳

産業組合が大活躍

既報石城産業組合部會は明一日から一週間の産組強調週間に就いて昨廿八日午前十時から丸友ホールに各組代表が協議せる結果中西本縣農林主事が各町村に巡回講演を行ふ外期間中は組合職員家の光青年等總動員して各戸を訪問組合強調の印刷物を配布し一方組合

勸業主任

郡下の協議

郡内町村産業技術員並に勸業主任協議會は昨廿八日午前十時から平團體事務所

振替貯金の事務は

明日曜日を休まず

創立卅年を記念して

標語等懸賞募集

平郵便局は明一日が振替貯金創立卅年記念日に當るの當日の日曜を休まず振替貯金事務を平常通り取扱ふが向本省貯金局では振替貯金奨励の爲め左の懸賞付ボスター圖案及び標語を一般から募集して居る

モシくで

電報を送る

來月中旬頃試行

既報平局で三月から實施することになつた電話に依る電報託送は官報、暗號、照校、親展、新聞、歐文等の各電報を除いたもので承諾せる加入者に限り電話送達されるが同局では三月五日迄に全加入者から回答を求めて中旬頃試行する筈

蠶豆作柄不安

植田山田錦二ヶ町村農會は蠶豆栽培で昨年中東京に二車の共同出荷を行ひ好成绩を上

大野産業講演 大野村信用組合は強調週間の催

つた 凶作防止耕種改善指導 十一年度實地指導 凶作防止實行委員活動 種痘の消毒並に苗代病虫害防除 積雪に對する農作物措置水田二毛作普及奨励 並に共同作業場利用促進 農村工業奨励 その他

行ふ

勿來豫算町會

勿來町十一年度豫算町會は來る五日頃開會大體昨年と大差ない四萬七千圓程度の豫算を計上される筈尙同時に昨年十二月竣功した同町菊田校の竣功祝賀會の日時も決定される

負債整理

組合座談會

石城郡下町村負債整理組合の指導研究の爲め縣では三月十六日平團體事務所にて座談會を開く

第三校卒業式

平第三小學校の卒業式及び修業式は三月二十四日午前九時から同校講堂で行はれるが卒業生は六年男生六十八名女生六十五名、合計百三十三名である

新入生の受付

平第三小學校は本年入學する男二百二十五名、女百九名、計二百三十五名の新入學生の爲め三月二十五日午前八時から同校講堂で受付を開始し入學生の身體検査や職員と父兄の懇談會を開くと

中根訓導合格

小名濱小學校訓導中根武夫氏は過般滿鐵の教育研究養成所生試験に應じ美事合格した

平町人事

△長橋町四八川角豊太郎氏 長男威さん

△三丁目二江尻豊吉氏五男廣市さん

△應匠町九田邊彰氏(二六) 上遠野村大字上遠野字白幡四〇近藤チエ子さん (二五)

△胡康澤一〇八萩原トキ姐 (七一)

△死亡

かまぼこ 製造

お惣菜用 さつまいも 吉原揚

平町一丁目 電話一四一番

ほねつき

桑原柔道整骨院

平野園下電話六七四

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門 醫學士 鈴木 正男 平町田町 (電話五八番) 藤田女學校前

受験準備の苦勞から

児童達が開放された

中止せねば處分すると

縣の嚴達來る

童心を蝕び受験地獄が接近したので平明各小學校は児童を放課後遅く迄残して最後のゴールを目指し受験準備に餘念ないが此程縣當局より長時間に亘り然も過激な受験準備は児童身心の發育上弊害多しとして是れを廢する様嚴重な通達があり若し中止しない場合は相當處分するとの事である爲め各小學校長が協議の上左記事項に留意し準備の苦勞から児童を開放することに決定し今廿八日篠山千葉赤津各小學校長連名の通知を保護者宛に發した

校長が協議の上左記事項に留意し準備の苦勞から児童を開放することに決定し今廿八日篠山千葉赤津各小學校長連名の通知を保護者宛に發した

児童の身心を害する

△放課後復習を行ふ場合は一時間位の程度にとどむること △教職員は自宅に於て指導をなさざるべし △教職員は児童宅に一切出張指導をなさざるべし

比佐氏の印鑑を偽造したと

萩原氏が語る

説明書に對する辯明

(昨報)湯本町々長石川徳壽氏が同町の主力を注ぐ平小鐵道迂迴線並に温泉坑口地所問題に關して去る十九日平町石城民政部會幹事長萩原義雄氏が爲した

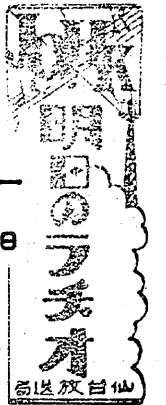
出たことは萩原石川兩氏共に民政黨に席を置く關係上種々な意味で大きな疑問符を生み
一般の注意を喚びてゐるが本廿九日當の萩原は激昂し部會には何等關係ないと言頭して左の如く話つてゐる
石川氏等が温泉復活開

女青幹部

講習會日取

一日繰上げ

石城郡女子青年團幹部講習會並に評議員會は來る八日平館で開催の豫定であつたが縣より婦人報告祭の通牒があつた關係から一日を繰上げ七日午前十時より平第二小學校講堂で催すことゝ



今夜は晴明日も同様
今日
後六〇〇 子供の時間
お話し 鈴木敬信
後六、二五 講演「科學界のトピク」仁科芳雄
後七、三〇 人情断「文七元結」三遊亭圓生
後八、一〇 獨唱 齋田愛子
後八、三五 大衆物語「龍拔け銀次」(下)栗島狹衣

今日 晩の部
後九、三〇 時報ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部
前九、三〇 子供の時間 解説付管絃樂「ハイドン」の交響曲「時計」(告別)「玩具」新交響樂團
前一〇、〇〇 日曜禮拜 京都聖アグネス教會中繼
前一〇、四〇 講演「郵便

板の間稼ぎの女賊

金側腕時計をせしめて

何食はぬ顔

平町白銀町佐藤チヨ子(三)は廿七日夜同町鶴之湯方に入浴客を装ひ入浴客の金側腕時計一個價格卅圓を窃取し何喰はぬ顔で歸らんとしたのを平署員に檢舉されたが同人は板の間の稼ぎ専門の女賊で引續き取調中

水戸觀梅 列車を増結 平驛は明日水戸市の第一回觀梅デーが行はれるので上り各旅客列車に合計十二臺の車輛を増結する

造船の相談が紛れ

打つやら克むやら大喧嘩

江名濱町宇中之作元船長志賀豊吉(三)は廿八日夜同町勇屋旅館方で知合の大陽丸船長吉田喜好(三)と共同出費の造船計畫に就いて相談中折合がつかず些細の言葉から昂奮鐵拳を振つて喜好を毆打するやらかみつくやらで全治二週間の傷害を

けふ第一校 平第一學藝會開催 小學校の學藝會は今日二十九日午前九時より同校講堂で催され児童の可憐な演技に參會の來賓父兄約八百名が十二分

振替貯金事業創始卅に際して「武田泰郎」竹原と頼山陽「村」英景惠滿洲國々務總理大臣後二〇〇〇 記念講演張後〇、五〇 吹奏樂 行進曲「蘭花」意想曲「滿洲の思出」行進曲「祝賀」陸軍戸山學校軍樂隊後一、一〇 琵琶「雪の別れ」田中旭嶺後一、四〇 箏曲「子日の遊び」「松竹梅」村田松泉後二、一〇 ラヂオ聯曲「四季の滿洲」藤駒他後二、五〇 和洋合奏「鶴龜」「春雨」かつかぼれ浪花管絃樂團 桃谷中繼後六〇〇 子供の時間

育ての娘夫婦に

毆られた老人の告訴

小名濱町宇横町瀬戸利三郎(七)は廿九日平署へ同町高橋留雄(五)並に同入妻岡部ミチ(三)を傷害で告訴した理由は

利三郎はミチが十二才の時ミチの母親セイの許へ入夫、セイが死亡の時ミチの事を吳々頼まれたがミチは留雄と同棲するや利三郎を邪魔にして別居してゐたが利三郎が十五日朝所用で留雄方を訪れた處何の理由もなく留雄夫婦は利三郎を毆打傷害を負はせたと云ふのである

平裁判たより

萩原礦主母堂 萩原炭礦主萩原申八氏母堂トキ嬢は永々病氣臥床中の處廿

△双葉郡大久村大字大久字 桃木澤一八〇猪狩榮太郎(六)は去る一月中同村地の國有林より楡立木三十五本時價三圓二十錢を盜伐した事發覺平營林署長より森林盜罪で告訴された

瓦解の謎

（上巻） 悟道軒圓玉（作） 丸尾至陽（書）



六〇 合せて千兩

齊藤嘉平次は五百兩持つて店へ出て来て青木彌太郎と岡田盟の前にその金を出し

齋「千兩御入用のことであるが主人不在のことござるから五百兩にて御勘辨下さい」

彌「これは小判だな、當家の主人は外國人に小判を賣り渡しそれにて大利を得た

大方これも外人にうり渡すために買ひ込んでおいたものであらう、しかし小判では困る、これを二歩金かまた一歩銀にしてみらひたいな」

齋「それでは替て參るであらう」

とその金に嘉平次が手をかけるを振り拂ひ

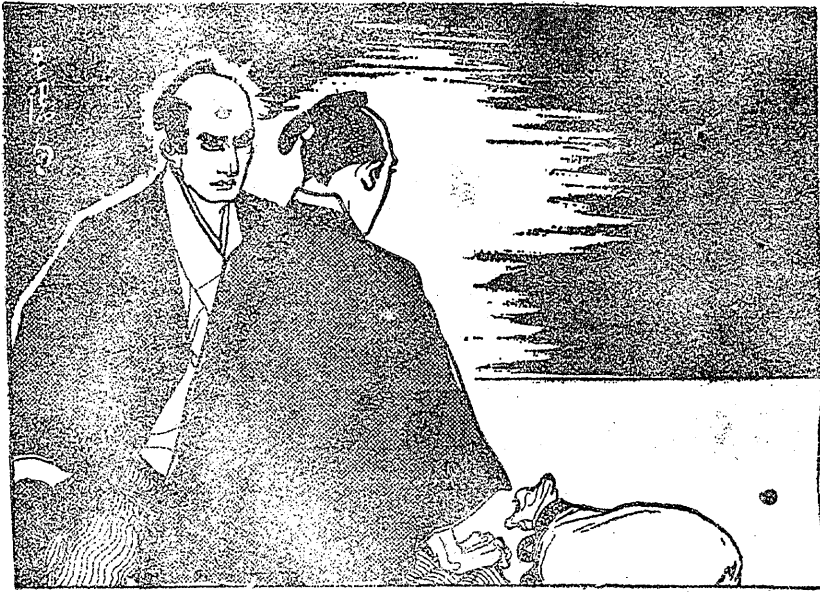
彌「この金を渡すこととはならぬ、貴公をうたがふ譯ではないが、取り上げられては困るでな」

齋「然らば只今小粒にて五百兩差出すことにいたす」

と嘉平次は奥に入り

齋「御主人、彼等は勝手なことのみ申して居る、小判では困る小粒では」と

庄「そんなことをいひましかえそれでは取り代へてやりませう、これよ二歩金を持つて來な、一歩銀も入れな」



そこへ番頭が金を持つて來た、主人の庄兵衛はそれを數へて

庄「それではこれをお渡し下さい」

嘉「イヤ何うも悪い奴に見込まれてさぞ御迷惑であらう然しあまり御主人が金を

もうけたからこんなことにもなるので、云ひつゝ小粒で五百兩それを持つて店へ出て来て嘉「青木殿、御注文通り小粒にてお渡し申す」彌「ウム、たしかに受取つた」

彌「小判をお返し下さい」嘉「彌太郎は用意の革袋へこの金をざら／＼と入れて」彌「大分暗くなつて參つたお、冷たい風が吹き居るがこれは一降りかゝるぞ、イ

じやうみを口實にいたして幕府を苦しめ居る、このまゝに倒れるであらう、依つてわれ／＼同志の手を以てじやうみを断行いたし、徳川家をすくふ、江戸に居る者共は永く徳川の御恩澤に浴したものださすれば軍費を差出すは當然のことである、況して當家の主人は國禁の品々を外國人に賣り込みあまつさへ國の寶とい

彌「この金はわれ／＼が榮華に使ひするのために申し受けるものではない、横濱に滞在いたし居る外國人を打ち拂ひ、徳川家の基礎をかたくいたすためだ、貴公も知つて居るであらうが浪人共または諸大名の家臣が

といつた、さては青木にはかられたかと齋嘉平次はびつくりした、彌太郎は嘉平次のおどろくさまを見て彌「この金はわれ／＼が榮華に使ひするのために申し受けるものではない、横濱に滞在いたし居る外國人を打ち拂ひ、徳川家の基礎をかたくいたすためだ、貴公も知つて居るであらうが浪人共または諸大名の家臣が

貴方の御家庭に

お手不足は御座いません

本會を御利用下さい

直に家政婦派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の 付添 年寄やお子さんの付添
炊事 や 雑用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

しもやけ家傳藥

是マデしもやけハ暖カニナラネバ治ラヌモノト諦ラメテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用デクズれたしもやけモ忘レタ様ニ完全ニ治リマス。

現今ノ塗藥トハ異リ惡法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。

しもやけハ寒サノ爲ニ皮ノ毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノ塗藥等デハ決シテ治ルモノデアリマセン、又くずれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ増シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中心地良イ惡法ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子様方ニモ喜バレ如何ニくずれたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シ下サイ。

東京丸井邦寶堂

福島南縣特約 伊藤石炭店 電話三四九

諸橋外科醫院

(電.四六四)

平新川町二七

内臓外科 皮膚科・花柳病科
レントゲン科

醫學博士 諸橋鐵彌
醫學士 奧義弘

花環 神佛葬具
盛花
久壽玉
御巾燈
寶明燈
靈柩自動車
造花
平新川町
橋本屋
三六一電